

「“今、戦争・平和”について私たちの思い・声を形に」企画
第一期（2023年1月）投稿分

・国連の「持続可能な開発目標」に「生命」と「地球」の項目がないというのをロシアのウクライナ侵攻まで気づきませんでした。国連のSDGsは「生命」と「地球」に関してすでに基本的な目標は達成されていて、それを充実させるために17項目が選ばれたのだと考えられます。人は地球上で生命を得て、生きる権利や人格は所属する国家、人種、宗教、の別なく尊重され、生きている間の自由な自己実現は保証されているものだと思っていました。ところが今回のウクライナ侵攻です。第2次世界大戦で日本が負け、戦争の愚かさを人類は悟ったのではなかったのではないのでしょうか。「生命」を奪い合うのではなく地球に生きる生命体として他の生命体とともに発展していくべきではないのでしょうか。そのための英知、言葉を戦争という破壊的暴力を使わず人間は使うべきではないのでしょうか？

・数週間とした軍事侵攻が1年もの戦争に・・・戦えば止められない。為政者よ、戦うな。

・ロシアへとウクライナから移される子達のありと聞けば眠れず
一夜明け令和五年の初雪の予報は外れ青空を見る

・平和な日常から突然の戦争。いつも世界の動きに関心を持ち続け、世界中の同志と連帯を！

・21世紀の今戦争の脅威に直面しているとは。「歴史は繰り返される」ではなく、「歴史から学ぶ」と信じたい。

・「繋がる」大切さを思います。それは、全ての領域で進行するデジタル化を、人文系学問で人知を陶冶しSTEM教育の推進と連携できる人間力で包むこと。道のりは遠くても進まなければなりません。